



久山年神社報 第二十八号
たよしの杜



宮司 本田孝裕

『神宮式年遷宮』

神宮（じんぐう）とは「伊勢神宮の正式名称」で、式年（しきねん）は「決まった年数ごと」という意味、遷宮（せんぐう）は「神社を建て替えて神様を遷す（うつす）」という意味です。

「神宮」は天照皇大神（あまてらすおおみかみ）を祀る内宮、豊受大神（とようけのおおかみ）を祀る外宮を中心とした大小一二五社の総称をいいます。つまり「神宮式年遷宮」とは神宮に関わる全ての社殿・建築物・宝物（ほうもつ）をも造り替えて神様をお遷しする神宮最大のお祭りなのです。（ここでは以下、遷宮と呼称します）

遷宮は20年ごとに行われ令和15年（二〇三三年）に第63回目を迎えます。途中、室町末期〜戦国時代と80年前の大戦後に数年間の延期がありました。が、およそ千三百年前から途切れることなく続けられてきました。

もちろん20年程度で社殿が朽ちることはありません。たった20年しか経っていない社殿からわざわざ

ざ新しい社殿に遷すのはもったいないように思えますが、これにはいくつかの説があります。

まず第一の説が常若（とこわか）説です。新しい社殿にお遷り頂くことで神様が常に若々しくお力を発揮し、私たちがそのお力を頂くことで日本全体が活気に満ちた国になるように。との考えが日本人の精神の根底にあるからだと言われています。新年に神社へ初詣に行き、新しく御神札や御守を取り替えるのもこの考えがあるからです。



写真は第61回の遷宮直後の様子
(左奥に旧社殿が見えます)

第三の説は人生儀礼説です。昔から20歳で成人、40歳で初老、60歳で還暦というように20年という年数が人生では重要な年数と云われており、節目ごとに神社でお祓いをして人生のリセットをするように遷宮もまた生まれ変わりの考えから20年という年数になったとの説があります。

さて、遷宮が行われた後の古い社殿はどうなるのか？という、もちろん無駄にはしません。古い社殿は解体されて全ての古材が再利用されます。古い木材もカンナをかけて一皮剥けば新品同様の木材に生まれ変わります。前回の遷宮では東日本大震災で被災した神社の再建に優先的に利用されました。今回の古材は能登地震で被災した神社に使われると思いますし、数年内に災害が起きた場合、そちらの神社にも使われることでしょう。

第二の説は技術の伝承説です。遷宮で社殿を建築するのは宮大工の方たちですが、20代で遷宮を経験した若い宮大工が20年後は40代になり、今度は棟梁として若い宮大工を指導する立場になり、再び遷宮に関わることとなります。この技術の伝承に必要なのが20年の理由という訳です。

一三〇〇年前から続く「日本独自のサステナビリティ」である神宮式年遷宮、これから令和15年のお引越しに向けて様々なお祭りが行われますが、まずはスタートとなる最初のお祭り「山口祭」が今月行なわれました。「変えないために変える」これが神宮式年遷宮の伝統なのです。

※ 写真提供 神宮

寄付をお願いします

今年も各自治会の総会にお邪魔してお願いさせて頂きましたが、まだまだ目標額には遠く改めて神社改築の寄付をお願いします。

ご不明な点はご遠慮なくお尋ねください。

また五万円以上の寄付の方には、できるだけ無理が無いよう「分割での寄付」も受け付けています。お気軽にご相談下さい。

寄付は直接、久山年神社社務所までお持ち頂くか、左記の口座へ振り込み願います。

(振込手数料は差し引いて構いません)

【寄付振込先】

十八親和銀行 多良見町支店

口座番号(普) 5009504

たちばな信用金庫 多良見支店

口座番号(普) 1586247

久山年神社記念事業実行委員会 宛

何卒ご奉賛賜りますようお願い致します。

久山年神社 社殿百周年改築 奉賛者の特典

※振込の場合は、振込完了後に神社までご一報下さると幸甚に存じます。
(お礼状発送や今後のご案内等のため)

寄付額	100万円以上	50万円以上	30万円以上	10万円以上	5万円以上	1万円以上
御礼状	○	○	○	○	○	○
御芳名社殿掲載	○ (特大)	○ (大)	○ (中)	○ (中)	○ (小)	別途掲載
記念品	○	○	○	○		
特別記念品	○	○	○			
感謝状	○ (纏入)	○ (纏入)	○ (纏入)	○		
完成内覧会	○	○	○	○	○	○
竣工祭参列	○	○	○	○	○	
竣工直会臨席	○	○	○	○		



久山港線の工事が着々と進んでいます

すでにご承知のとおり、県道久山港線の工事が進んでいます。現在は社務所の周りや宮司宅の周辺の工事がされており、5月の連休明けからは踏切前の参道が一時的に無くなり迂回路に替わる予定のようです。

神社にお越しの際はご不便をお掛けしますが、お気をつけてお越し頂けたらと存じます。



授与品の郵送対応を始めました

(オンライン授与所開設のお知らせ)

この度、参拝が叶わない遠方の方のために「久山年神社オンライン授与所」を開設して郵送対応を始めました。

本来でしたら授与品は参拝して受けるもので参拝を伴わない郵送対応は神社としては本義ではありませんが、郵送の問い合わせが多いこと、さらに現在社殿改築の寄付を集めており、今後さらに寄付を集めるにあたって新しい授与品の奉製も考えています。

そのため全国に頒布しやすい郵送という方法も、今後必要になってくると思います、始めた次第です。

同時にホームページもリニューアル致しました。遠方にお知り合いがいる方は、ぜひお薦め頂けたらと思います。



↑
オンライン授与所は上のQRコード
または久山年神社公式サイトから



初午祭 無事に終了

二月六日(木)に境内社の稲荷神社の御神前で初午祭(はつうまい)を執り行いました。

初午祭は全国の稲荷神社の本宗社である伏見稲荷大社の神様が旧暦二月初午の日に稲荷山に鎮座したことになみ行われるお祭ります。(当社社では現在の暦である新暦の二月初午日に行っていますが、三月の初午(旧暦の二月)に行う神社もあります)

今年も恙なくご奉仕を致しました。

※写真提供

辻哲也氏



古神札・古神符焼納祭



今年も二月三日に古神札古神符焼納祭を執り行い、古い御神札や御守を忌火(いみび)を使い丁寧にお焚き上げ致しました。

古いお神札お守は全国どこの神社のもので常時お預かりします。(ただし、お焚き上げは二月三日だけなので、この日以降にお持ち頂いた場合は翌年の二月三日までお預かりになります。)



編集後記

編集後記は

お休みします。



動画はこちらのQRコードから

ユーチューブで紹介されました
地元で活動されているユーチューバー「爆走!モトちーず」の動画で久山年神社が紹介されました。
爆走!モトちーずはご夫婦でバイクに乗ってらっしゃる夫婦モデルブロガーです。ぜひご視聴下さい。

